

平成 28 年度事業報告

I 平成 28 年度事業報告の概要

II 法人本部事業報告

III 事業報告

デイセンター風の森

モーリー農場

もりすけ

まめじまカフェ

もりときマーケット

宅配弁当ごはんの森

ようこそ森と木ラボ

もりときピコ

地域活動支援センター カフェハクナマタタ

自立サポート森と木

こども発達支援センターBee

こどもの自立生活館菝舎

ワズハウス

エンパワメントセンターワズハウス（短期入所）

あかね舎ファミリーホーム

まめじまカフェ（短期入所）

グリーンハイツ稲田（短期入所）

エンパワメントセンターワズハウス（ホームヘルプ）

エンパワメントセンターワズハウス（生活支援）

エンパワメントセンターワズハウス（共同生活援助）

地域生活相談室ベターデイズ

平成 28 年度事業の概要

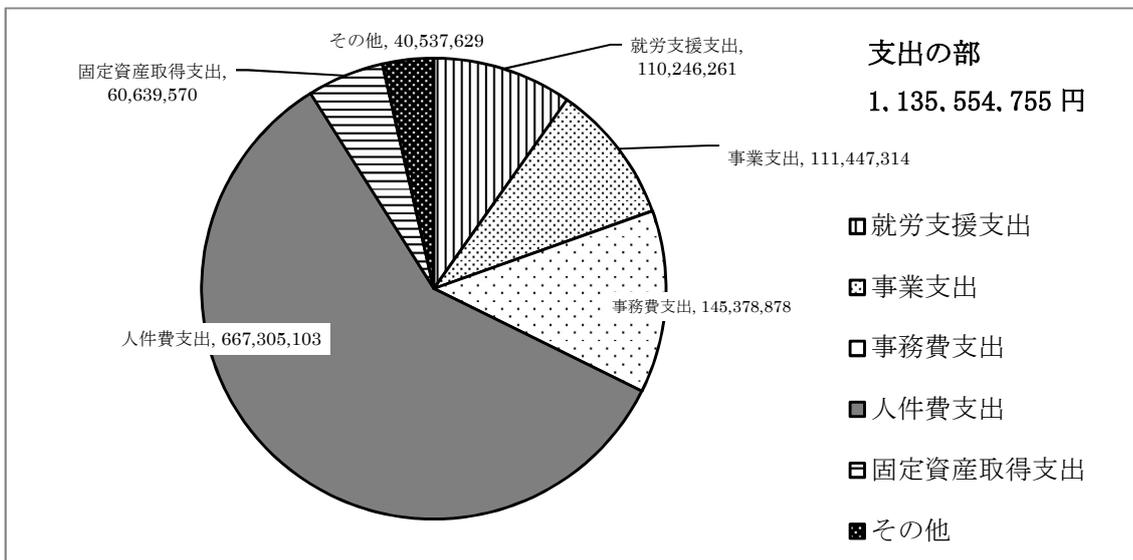
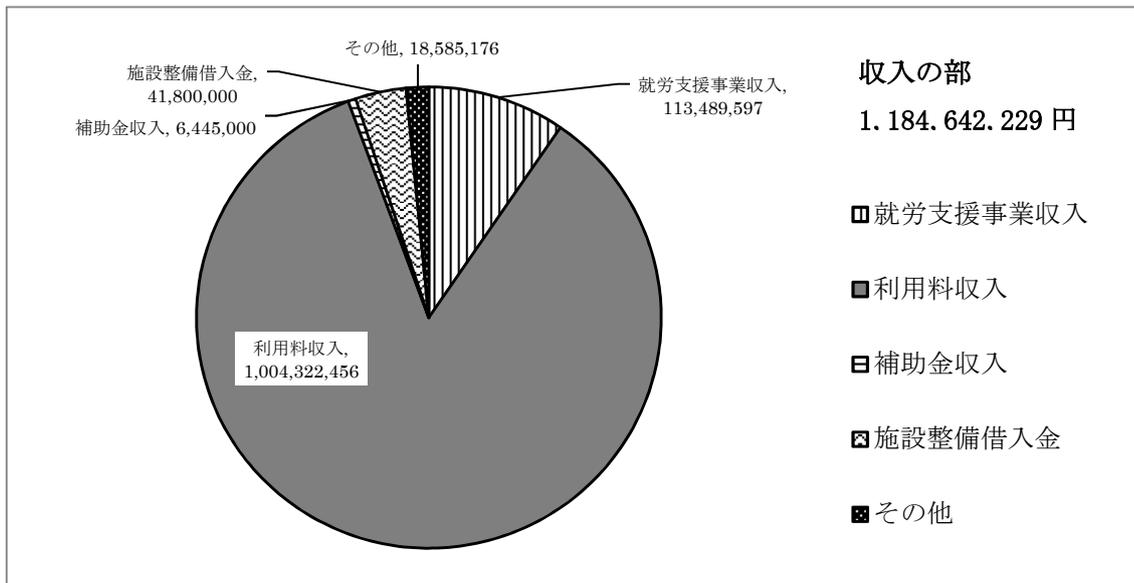
1. 総括

平成 28 年度の国の大きな動きは、障害者差別解消法が施行され、全ての事業者に対して障害を理由とした差別を禁止することが明示された。公的機関に関しては障害のある人からの求めにより必要な変更や調整をする合理的配慮が義務化された。また、雇用場面においても改正障害者雇用促進法により、障害のある人に対する差別禁止と合理的配慮が義務化されるようになった。これらの法の成立や改正が、共生社会の実現に向けた確実な一歩になることを望みつつ、当法人でも法の普及に努めてきた。

当法人の事業では、4 月に長野市稲田地区にグリーンハイツ稲田イースト、定員 7 名のホームを開設し、長野市役所前から移転したベジタボーラが 4 月 26 日に開業した。7 月にはまめじまカフェの従たる事業所として東和田にマイルーム東和田を開設し、行動面に手厚い支援が必要な自閉症のある人が地域の中で地域社会と交わりながら安心して活動ができる拠点を整備した。文化事業では、結成から 20 年を迎えた D×P ビートウッズが長野市芸術館アクトホールにて 20 周年を記念した演劇とダンスステージを行った。また、アトリエキノの企画により、障害のある人の作品展示会を、もりたろうをはじめ各地で開催することができた。

施設整備では、国庫補助を利用し医療ケアを必要とした障害の重い人が暮らすアルファ東和田Ⅱにスプリンクラーを設置した。

2. 決算の状況〔グラフ〕 ※平成 28 年度の資金収支状況



Ⅱ. 管理部門事業報告

平成 28 年度 法人本部

1. 平成 28 年度 理事会、評議員会、監査、評議員選任・解任委員会

平成 28 年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

(1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	平成 28 年 5 月 12 日 (木) 午前 10 時より	平成 27 年度事業・財産監査	承認
第 1 回 評議員会	平成 28 年 5 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 27 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 27 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 諸規定改定について 第 5 号議案 八十二銀行への借入限度額設定の廃止について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認 第 4 号議案：全会一致承認 第 5 号議案：全会一致承認
第 1 回 理事会	平成 28 年 5 月 21 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 平成 27 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 27 年度決算書報告 (案) について 第 3 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 諸規定改定について 第 5 号議案 八十二銀行への借入限度額設定の廃止について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決 第 4 号議案：全会一致可決 第 5 号議案：全会一致可決
第 2 回 評議員会	平成 28 年 7 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 理事・監事改選について 第 2 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 第 3 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認
第 2 回 理事会	平成 28 年 7 月 23 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 評議員改選について 第 2 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 第 3 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決
理事長互選の ための会議	平成 28 年 8 月 3 日 (水) 午後 3 時より	第 1 号議案 理事長の選出について 第 2 号議案 専務理事の選任について 第 3 号議案 理事長の職務を代理する順位 (案) について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決
第 3 回 評議員会	平成 28 年 11 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 諸規定の改定について 第 2 号議案 評議員選任・解任委員の選任について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決

第3回 理事会	平成28年11月26日(土) 午後3時30分より	第1号議案 諸規定の改定について 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任について	第1号議案：全会一致可決 第2号議案：全会一致可決
第4回 評議員会	平成29年3月11日(土) 午後1時30分より	第1号議案 平成29年度事業計画(案)について 第2号議案 平成29年度予算書(案)について 第3号議案 平成28年度補正予算(案)について 第4号議案 諸規定の改定について	第1号議案：全会一致承認 第2号議案：全会一致承認 第3号議案：全会一致承認 第4号議案：全会一致承認
第4回 理事会	平成29年3月11日(土) 午後3時30分より	第1号議案 平成29年度事業計画(案)について 第2号議案 平成29年度予算書(案)について 第3号議案 平成28年度補正予算(案)について 第4号議案 諸規定の改定について 第5号議案 評議員の選任について	第1号議案：全会一致可決 第2号議案：全会一致可決 第3号議案：全会一致可決 第4号議案：全会一致可決 第5号議案：全会一致可決
第5回 理事会 (書面開催)	平成29年3月27日 (理事会の決議があった ものとみなされた日)	第1号議案 第9期 評議員選任(案) について	第1号議案：全会一致可決
評議員選任・ 解任委員会	平成29年3月29日(水) 午前10時より	第9期 評議員の選任について	可決

(2) 理事、評議員、評議員選任・解任委員出欠状況

	日時	出席者	欠席者
内部監査	平成28年5月12日(木) 午前10時より		無
第1回 評議員会	平成28年5月21日(土) 午後1時30分より		
第1回 理事会	平成28年5月21日(土) 午後3時30分より		無
第2回 評議員会	平成28年7月23日(土) 午後1時30分より		
第2回 理事会	平成28年7月23日(土) 午後3時30分より		無
理事長互選の ための会議	平成28年8月3日(水) 午後3時より		
第3回 評議員会	平成28年11月26日(土) 午後1時30分より		

第3回 理事会	平成28年11月26日(土) 午後3時30分より		無
第4回 評議員会	平成29年3月12日(土) 午後1時30分より		
第4回 理事会	平成29年3月12日(土) 午後3時30分より		無
第5回 理事会 (書面開催)	平成29年3月27日 (理事会の決議があった ものとみなされた日)		
評議員選任・ 解任委員会	平成29年3月29日(水) 午前10時より		

2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	のべ利用人数
書籍購入費(関係書籍等 85 冊)	180,715 円	27 人
資格取得費	0 円	0 人
研修参加費(自閉症協会全国大会・てんかん基礎講座等)	274,932 円	15 人
合計	455,647 円	42 人

3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員の資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

開催回数・支給金額

開催回数	支給金額
22 回	202,310 円

4. 新規職員採用試験

平成29年度新規職員採用試験の実施

(1) 試験日時等

日時 第1回 平成27年8月29日(土) 午前9時30分より

第2回 平成28年2月24日(水) 午後4時00分より

会場 エンパワメントセンター ワンズハウス 2階研修室

内容 筆記試験・面接試験

(2) 採用結果

新人職員 6名採用

5. 平成28年度職員研修の実施

職員のスキルアップを目指して、以下の通り内部研修の実施、外部研修への参加をした。

	研修内容
職員研修	①テーマ別ゼミ ②外部研修（年3回） ③全体職員研修（年1回） ④水上安全法研修（年1回）
リーダー研修	①長野市障害ふくしネット全体協議会（年2回） ②共に生きるまちづくり研究会タウンミーティング（年4回） ③障害者虐待防止研修（年1回）
パートタイム職員研修	①各施設パート、アルバイト研修（年1回）
その他	①サービス管理責任者研修（5人） ②相談支援専門員初任者研修（4人） ③相談支援専門員現任研修（1人） ④強度行動障害支援者養成研修（1人） ⑤児童発達支援管理責任者研修（1人）

6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

場所	ワングハウス2階 託児室																
利用者数	5人																
職員体制	保育士3人																
開所日	240日(平成28年4月～平成29年3月)																
開所時間	8:00～19:00																
基本日課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>8:00</th> <th>9:30</th> <th>11:30</th> <th>12:30</th> <th>15:00</th> <th>16:00</th> <th>17:00</th> <th>19:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入</td> <td>朝寝</td> <td>昼食</td> <td>昼寝</td> <td>おやつ</td> <td>帰宅①</td> <td>おやつ</td> <td>帰宅②</td> </tr> </tbody> </table>	8:00	9:30	11:30	12:30	15:00	16:00	17:00	19:00	受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	おやつ	帰宅②
8:00	9:30	11:30	12:30	15:00	16:00	17:00	19:00										
受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	おやつ	帰宅②										

7. 若者プラン

法人の次世代を担う職員が、法人の進むべき未来を意識できるよう中長期ビジョンの作成に向け話し合いや中間発表を行った。

開催回数	内容
4回	10年後の森と木をイメージし、障害のある人が地域に溶け込んでいくこと、職員が意欲的に仕事に取り組み専門性を身に付けていくための対策についてまとめ、7月23日の理事会・評議員会で中間発表を行った。

8. 苦情解決状況

苦情の内容	苦情の件数	結果
1 施設運営に関すること	2件	1 解決済み 7件 2 継続中 0件
2 施設整備等に関すること	0件	
3 支援に関すること	5件	
4 その他	0件	
	7件	

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護事業所
1. 総括	<p>風の森では、ひとりひとりの得意な事や好きな事を活かせるような活動の提案をしてきた。作業活動では担当する作業工程を決めたり使用する道具の工夫をしたりすることで、達成感や充実感を得られるようにした。また、風の森やキノで作られた作品や雑貨商品などをイベントや一般の店舗で販売することで地域の人と繋がる機会を増やすことが出来た。</p> <p>身体面では、健康に継続して通所できるよう環境に配慮した上で、機能維持的 活動や休憩の取り方などをひとりひとりの身体状況に併せて提案した。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 16 名、 看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 22 名（定員 20 名）※契約者数 28 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 作業活動 各作業活動でオリジナル製品製作を行った(木工：笑う BOX、お菓子：ソフトクッキー、クラフト：あかんべー)。作業工程ではひとりひとりの得意な事や好きな事を活かして取り組むように提案し、完成した雑貨の店舗納品やイベント販売など、関わったご本人を中心に行う事ができた。木工作业では、木工専門のスタッフを配置することで作業を円滑に進める事ができ、品質も向上した。		
	(2) 地域とつながる活動 外で活動することが好きな人を中心に、平林地区の地域掃除を継続的に行なったり、中庭の花壇整備を地域のボランティア団体と行なったりした。予定していたワークショップや通信発送はできず、来年度の課題としたい。		
	(3) 体をつくる活動 個別の時間を設け、本人専用の機能維持用具を使い体力維持活動したり、公共のプールを活用したりして体を動かす機会を作ることができた。		
	(4) 個別活動 図書館、パソコン、買い物など個別の要望に応じて活動した。		
	(5) クラフトショップもりから堂 今年度は森と木創業祭で店舗を開放し、ご近所の方などにもりから堂を知っていただく機会を作ることができた。もりから堂で計画していた定期的なイベントは行う事が出来ず、来年度の課題にしたい。		
	(6) 余暇活動 隔週土曜日に外出企画を実施した。また、忘年会を 12/21、22 にアゼィリア飯綱にて実施した。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>自閉症や知的障害のある方を主な対象に、個々に応じたわかりやすい活動拠点や日課を整備し、加工食品・農作業・受託作業を中心とした作業活動を提供しながら、安心感をもって通所してもらうことができた。また、作業活動を通して地域の人と出会う機会を作り地域社会の中での自分の役割を感じられる機会を作りながら、達成感や充実感をもって過ごしてもらえよう支援を行なった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活支援を行った。</p>		
	<p>(2) 個別支援計画の作成 生活支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p>		
	<p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 8 名 看護師 1 名、嘱託医 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 17 名（定員 20 名）※契約者数 21 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 加工食品の製造・販売 主に旬の果実を使用したオリジナルジャム、自家栽培の加工用トマトを主に使用したケチャップ、自家栽培の野菜を使用した漬物等を製造し、販売を行なった。ジャム以外は一般向けの販売がほとんどできず、来年度の課題としたい。</p>		
	<p>(2) 農作業 モーリー農場およびもりすけで製造する加工食品の原材料となるトマト、玉ねぎ、雑穀、小麦等を栽培した。畑の近くの住民と顔見知りになるなど、少しずつ地域とのつながりができてきた。</p>		
	<p>(3) 受託作業 主に長野市内で活動する企業やボランティア団体からの受託作業を途切れなく行ない、安定したわかりやすい日課を組み立てることができた。</p>		
	<p>(4) 余暇活動 毎週土曜日に外出企画、不定期で食事会や飲み会、作業グループごとに一泊旅行を行なった。</p>		
	<p>(5) アート活動 アトリエキノにて毎週火曜日の午後の時間に、希望者により絵画と陶芸に分かれてアート活動を楽しむことができた。</p>		
7. 単年度事業	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	自閉症や知的障害のある方を主な対象に、個々に応じたわかりやすい活動拠点や日課を整備し、焼菓子製造を中心とした作業活動を提供しながら、安心感をもって通所してもらうことができた。また、作業活動を通して地域の人と出会う機会を作りながら地域社会の中での自分の役割を感じられる機会を作り、達成感や充実感をもって過ごしてもらえよう支援を行なった。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活支援を行った。 ----- (2) 個別支援計画の作成 生活支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。 ----- (3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 8 名 看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 17 名（定員 20 名）※契約者数 21 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 雑穀焼菓子の製造・販売：自家栽培の雑穀を使用した焼き菓子を製造し、市内の児童センターや児童養護施設での販売を始めたり地域の店舗などでの委託販売・出張販売を行ったりしながら、地域の人とのつながりを作ることができた。 ----- (2) 原木しいたけ栽培・販売：飯綱にある栽培地で原木しいたけの栽培を行い、生しいたけ・干しいたけの販売を行った。近年しいたけの発生量が落ちているので、栽培方法の見直しや圃場の整備を行ない、収量を増やしていきたい。 ----- (3) 農作業：雑穀を中心に大根やかぼちゃなどの野菜の栽培を行なった。栽培にあたっては清泉女学院大学との共同作業を行ない、地域の学生とのつながりを持つことができた。 ----- (4) 受託作業：主に長野市内で活動する企業やボランティア団体からの受託作業を途切れなく行ない、安定したわかりやすい日課を組み立てることができた。 ----- (5) まんまパック事業の運営：長野産のこだわりの米や野菜を契約農家から仕入れ、契約者への定期配達を行ってきたが、契約者の減少や利用者の方が直接的に関われない状況もあり今年度で終了することとした ----- (6) 余暇活動：毎週土曜日に外出企画、不定期で食事会や飲み会、年に一回の一泊旅行を行なった。 ----- (7) アート活動：アトリエキノにて毎週火曜日の午後の時間に、希望者により絵画と陶芸に分かれてアート活動を楽しむことができた。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	主たる事業所 まめじまカフェ 従たる事業所 マイルーム東和田	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>行動障害等がある自閉症の方や重い知的障害があるために日常生活に困難さがある方を主な対象に、個々の障害特性に配慮した環境と活動プログラムを提供し、安心して社会生活を送るために必要な支援について検証することを目的として支援を行った。『マイルーム東和田』を従たる事業所として7月に開設し、ボランティア活動や下請け作業を通して地域での繋がりを広げていくための小集団での活動支援を行った。また、まめじまカフェ本体の一部で改修工事を行ない、感覚過敏等を要因とする行動障害がある方について、できるだけ不要な刺激を減らして安心して活動できる環境の整備を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員12名 看護師1名、嘱託医1名</p>		
4. 利用者実績	<p>1日平均19名(定員20名)※契約者数25名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)活動コース</p> <p>①安全・安定優先コース 他者の声や動きなどが気にならないように環境を調整し、声のかけ方や返答の仕方などを支援者間で統一することで安心して活動できるよう支援を行った。また、不穏時に支援者が必要以上に関わらず、壊せる物を無くすことで、思いを伝えるために他害・破壊行為をすることを減らせるよう支援を行った。</p> <p>②個別活動中心コース 個室の中で、絵カードやタイマーなどを使って見通しを持って作業活動に取り組めるように支援を行った。利用者の方が不穏になることは少なかったが、個室の中だと体を動かす機会があまり作れないため、次年度は無理のない範囲で外に出て体を動かす機会を設けていきたい。</p> <p>③共同活動中心コース 個別の時間は個室でそれぞれ絵を描いたり音楽を聴いたりして過ごし、作業活動の時間は作業室に集まって複数名と一緒に活動に取り組めるよう支援を行った。お互いに程よい刺激を受けながら切磋琢磨して作業に取り組まれていた。</p> <p>④小集団活動コース 空き缶リサイクルや企業からの下請け作業などをそれぞれ8名程度の小集団で、一人ひとり役割を持って活動に取り組めるよう支援を行った。朝のラジオ体操やウォーキング、ミーティングなどを全員で行うことで、集団で活動していることやその中で役割があることなどを意識して活動していただけたと感じる。</p> <p>(2)活動内容 企業からの下請け作業、空き缶リサイクル作業、清掃などの地域ボランティア、アート活動、自主活動などを行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>・マイルーム東和田新設 ・まめじまカフェやすらぎルーム改修工事</p>		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	多機能型 (就労継続支援B型・生活介護)
1. 総括	<p>レストランや喫茶店など店舗での仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援を行った。年数を重ねるごとにスキルアップしている利用者の方が多い。また、テレビや雑誌などの紹介を積極的に受け入れ宣伝活動を行うことで、来客数や売上げが増加し、利用者の方のやる気にも繋がった。</p> <p>余暇企画も継続して行い、他店舗の利用者の方やスタッフとの交流を楽しみながらリフレッシュする機会を作ることができた。</p> <p>4月に移転したベジタボーラは、立地にも恵まれ、前年度の2倍以上の売り上げとなった。もりたろうと曇り時々晴れ本店は御開帳だった前年度に比べると減収だったが、駅前店は前年度並みの売り上げを確保できた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続支援 B 型支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援 B 型計画を作成し 6 か月に 1 回モニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 6 名、職業指導員 3 名、目標工賃達成指導員 1 名、看護師 1 名、嘱託医 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 10 名（定員 20 名）※契約者数 22 名</p>		
5. 開設時間	<p>曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう、ベジタボーラ：火曜～日曜 午前 9 時～午後 4 時 曇り時々晴れ駅前店：月曜～日曜 午前 9 時～午後 4 時</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 店舗の運営 パン屋、レストラン、喫茶店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、店外販売、清掃等の作業支援を行った。また、ポスティングの他雑誌やテレビでの紹介なども受入れ、宣伝活動も積極的に行った。</p> <p>(2) 勉強会の実施 月に 1 度、「接客について」「食中毒について」など店舗で働く上での知識やスキル向上に関わるもの、また「様々な暮らしについて」「趣味について」など生活に関わるもの等のテーマを設け、意見を出し合いながら勉強会を行った。</p> <p>(3) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。毎回 7～8 名程度の参加があった。</p> <p>(4) 研修旅行 店舗ごとに 1 泊 2 日の研修旅行を行った。 ・ベジタボーラ 11/6～11/7 ホテル戸隠 振り返りと新作パン会議 ・曇り時々晴れ、もりたろう 11/20～11/21 やきもち家 より良い店作りについて</p> <p>(5) 店舗製品作り、アート活動 週に 1 日、店舗で使うカップやお皿などの製品作り、また絵画などのアート活動を実施した。</p>		
7. 単年度事業	<p>平成 28 年 4 月、森のパン屋ベジタを移転しベジタボーラを開設した。</p>		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	宅配弁当ごはんの森	サービスの種類	就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>弁当製造の調理や配達を通して、仕事へのやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。Bee、森と木、風の森厨房では、それぞれ 1～2 名の利用者の方が働き、さまざまな作業種に取り組んだ。弁当、ランチ合わせて、1 日平均 220 食程製造し、安定した売り上げを確保することができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、就労継続支援を行った。</p>		
	<p>(2) 個別支援計画の作成 就労継続支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p>		
	<p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
	<p>(4) 給食業務の運営 こども発達支援センターBee、森と木、風の森の厨房業務を運営し、給食の提供を行なった。ごはんの森本体では、6 か所の通所施設の弁当製造を行った。</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 1 名、職業指導員 2 名、目標工賃達成指導員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 12 名（定員 20 名）※契約者数 15 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 弁当製造・給食施設の経営 調理、盛りつけ、配達、回収、洗浄作業を行った。</p>		
	<p>(2) 勉強会 毎月 1 回勉強会を開催し、マナー講座や仕事について、お金の使い方、趣味、防災などソーシャルスキルを高めていけるよう幅広いテーマで実施した。</p>		
	<p>(3) 余暇企画 もりときマーケットと合同で、ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動を実施した。</p>		
	<p>(4) 研修旅行『食品衛生について・社会人マナー』 平成 28 年 9 月 23 日(金)～9 月 24 日(土) 於：戸倉上山田</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	自立訓練（生活訓練）
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に、自己理解を深めながら地域の中で自立した生活を送っていただけるようになることを目的に、社会体験や学習活動等に取り組んだ。個々に目標を決めて取り組む活動や仲間との共同活動、支援者との面談等のなかで、周囲の人との信頼関係を築き、自尊心を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>また、住民自治協議会や権堂町商店街等と連携しイベント等に参加する機会をつくることで、地域の人たちとの協働関係を築きながら、役割を持って社会参加をする経験の場とした。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練事業を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画を作成し 3 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 3 名		
4. 利用者実績	1 日平均 12 名（定員 20 名）※契約者数 20 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 個別活動 興味のあることやできること、やってみようことの中から一人ひとりが課題を決めて活動に取り組んだ。レポート課題や検定にむけた勉強、読書、アート制作など、やり遂げることで達成感を感じられる活動となった。</p> <p>(2) 地域活動 住民自治協議会が行う子育てサロンへのボランティア参加や、市民交流センターでのイベント販売、権堂町商店街と連携し秋葉神社の追儺祭（節分会）への大豆の提供を行った。</p> <p>(3) 自分研究 テーマに沿って自分の考えを発表したり、仲間と話し合いをすることで、自分の気持ちを伝える力や相手の話を聞く力など、コミュニケーションスキルを高める活動を行った。</p> <p>(4) 特別活動 権堂町商店街七夕祭りへのアーケード飾りの製作・出展や、長距離ウォークイベント「ラボウォーク」の実施（11 月 10 日～11 日）、地域へむけた活動発表の場としての「ラボ感謝祭」の開催をした。1 つの目標に向けて皆で協力し、共に活動することで、仲間との関係を深める機会となった。</p> <p>(5) 共同作業 企業での共同作業のイメージを持てるようになることを目的にして、数人で協力、連携しながら作業を行った。（桜井甘精堂箱折り、ベジドリームラベル貼り）</p> <p>(6) サークル活動 同じ趣味を持つ友人と楽しみを共有し、仲間関係を深めることを目的にして、スポーツサークル、文芸サークル、囲碁将棋サークルを行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>発達障害のある学齢期の子どもを対象に、ゲームや料理、工作等の活動プログラムを通して、支援者や友達との信頼関係を築いたり、コミュニケーション力や社会性を育むことができるよう配慮し支援した。</p> <p>チャレンジャーズとして、トレッキングやスノーシュー、キャンプ合宿のチャレンジ企画を実施し、友達と協力したり、挑戦する機会となった。</p> <p>また学校やご家族、病院等関係機関との連携を図りながらご本人が安心して活動できるように取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 避難訓練（年 2 回）、職員会議、ケア会議への参加、放課後等デイ説明会、送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 4 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 10 名（定員 10 名）※契約者数 74 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 15:00～19:00 土曜日等学校休業日 9:30～15:30</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間として、苦手な部分のサポートを行った。</p> <p>(2) 友だちタイム 月予定を作成し、子ども達が集団で楽しめるゲームや調理、工作などの活動を行った。友だちと楽しく関わる時間を作ることができた。</p> <p>(3) クラブ活動 曜日の活動として、スポーツクラブ、アートクラブ、鉄道クラブに分かれ、好きな趣味を通して仲間との関わりを深めた。</p> <p>(4) チャレンジャーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 18 日地附山トレッキング（小学生組）12 名参加 ・ 7 月 9 日戸隠トレッキング（中高生組）10 名参加 ・ 9 月 17 日～18 日野尻湖キャンプ 10 名参加 ・ 2 月 25 日スノーシュー体験 12 名参加 		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	地域活動支援センター カフェハクナマタタ	サービスの種類	地域活動支援センターⅡ型
1. 総括	<p>地域活動支援センター「カフェハクナマタタ」では、地域で暮らす障害のある人が安心して過ごせるための居場所の提供を行い、通年で多くの人利用があった。必要に応じて相談支援専門員や関係機関と連携をとり、次のステップへの移行のための支援も行った。サークル活動では新たにクラフトサークルを新設し、これまでサービス利用に繋がらなかった人たちの参加の場となった。</p> <p>また相談支援専門員やふくしネットの当事者部会と連携し、必要でありながら福祉の支援に繋がっていない人への情報提供やニーズの情報収集を行った。</p> <p>地域活動としては、住民自治協議会や市民交流センター利用者など、地域の人と関係をつくり理解を広めるための企画として、オープンカフェも行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 憩いの場の提供「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援</p> <p>-----</p> <p>(2) サークル活動の実施</p> <p>-----</p> <p>(3) 当事者の話す会「しゃべくりカフェ」の開催</p> <p>-----</p> <p>(4) 各種イベントの開催</p> <p>-----</p> <p>(5) 地域とつながり理解を広めるための活動「オープンカフェ」の実施</p> <p>-----</p> <p>(6) カフェ通信「だいじょうぶだあ通信」の発行</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、支援員 2 名		
4. 利用者実績	1 日平均 15 名（登録者数 60 名）		
5. 開設時間	火曜～土曜日 10:00～19:00（サークル活動がある日は 20:00 まで）		
6. 活動/作業内容	<p>(1) カフェハクナマタタの運営と相談支援 地域の中の集える場所として、カフェの運営を行った。仲間との語らいの場や相談の場として活用した。</p> <p>-----</p> <p>(2) サークル活動の実施 同じ趣味をもつ仲間との関わりをつくれるよう、料理、ダイエット、ゲーム、クラフトサークルを行った。</p> <p>-----</p> <p>(3) 当事者の話す会「しゃべくりカフェ」の開催 コミュニケーションスキルを高めたり、気持ちを伝え合うことで自尊感情を高めることを目的に、毎月一度、テーマに沿って自分のことを話したり、仲間の話を聞き合ったりする活動を行った。</p> <p>-----</p> <p>(4) 各種イベントの開催 喫茶外出やスポーツなど、街のなかにある店やレジャー施設、公共施設などを活用しながら、余暇を楽しむためのイベントを行った。</p> <p>-----</p> <p>(5) 地域とつながり理解を広めるための活動「オープンカフェ」の実施 地域との繋がりや障害理解を広めるための企画として、毎月一度、実施した。前年度は 2 か月に一度だったところを、回数を多くして取り組んだことで、地域の住民自治協議会や 1 階の交流センター利用者が多く訪れ、カフェを利用している人たちの励みや楽しみにもなった。</p> <p>-----</p> <p>(6) カフェ通信「だいじょうぶだあ通信」の発行 2 か月に一度、カフェのイベントやお知らせを掲載した通信を発行した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	多機能型 (生活介護・自立訓練)
1. 総括	<p>特別支援学校を卒業した知的障害のある人を主な対象に、さまざまな社会体験プログラムを提供した。地域の公共施設や店舗を活用したり、地域の方に活動に関わってもらったりすることで、一人ひとりが社会経験を積み、関わりを広げながら、自己肯定感を高めていけるよう支援を行った。</p> <p>今年度では、A、Bの2クラスに分かれて活動し、クラス毎にスケジュールを固定することで見通しを持った生活を送ることができた。チャレンジ企画は、一人ひとりの目標や挑戦することを明確にして、ご本人、スタッフ共に意識することで、一層の達成感や充実感を持つことができた。また、森と木を卒業後の移行支援を行い、6名の方が他施設へ移行した。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を実施した。		
	(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議等を行った。		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 11 名 看護師 1 名、嘱託医 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 19 名 (定員 20 名) ※契約者数 25 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9:00～午後 4:00		
6. 活動/作業内容	(1) 自立生活プログラム 公民館や図書館等の地域資源を活用しながら、クラスごとに、身近な生活に関わることをテーマに社会学習に取り組んだ。また、チャレンジ企画の事前活動の時間として、企画への見通しを持ったり、意欲を高めたりするプログラムに取り組んだ。		
	(2) 地域活動 地域の方を対象にしたオープンカフェは開催することができなかった。地域清掃活動は定期的に行うことができた。		
	(3) サークル活動 スポーツ、歌、アートのサークル活動を実施し、通年を通して、趣味を広げ楽しむことができた。		
	(4) 作業活動：製菓作業、陶芸作業、下請作業を実施した。		
	(5) チャレンジ企画 ・5月・9月登山（飯縄山） 雨天のため中止 ・7月キャンプ（飯綱東高原） ・10月森と木ウォーク（長野→飯山）		
	(6) アート活動 アート作品を使用して作品展や雑貨製作を行い、利用する皆さんの「作家」としての活動を知っていただく機会をつくる事ができた。また、地域の方にもアートイベントに参加いただくことで繋がりを作る事ができた。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	こども発達支援センター B e e	サービスの種類	児童発達支援 保育所等訪問支援
1. 総括	<p>障害のある子どもや発達に不安のあるご家族の相談業務を行った。通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適應することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。</p> <p>また、発達に心配のある乳幼児期のお子さんに対し、遊びを通して楽しみながら発達を促す支援を行ったほか、家族への子育て支援も行ってきた。地域の保育園、幼稚園へ移行した子どもに対し保育所等訪問支援を行ない、子ども支援や園の保育士にアドバイスを行なった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った児童発達支援および保育所等訪問支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6 か月毎にケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 地域の保育所への移行支援を行なった。</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 2 名、機能訓練員 1 名、児童指導員 1 名、保育士 7 名、看護師 2 名、訪問支援員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 18 名（定員 20 名、重心 5 名）※契約者数 45 名 保育所等訪問 年間 197 件</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。</p> <p>(2) 社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。</p> <p>(3) 運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や健康管理を行うなどの支援を行った。また土曜日に体操教室、親子教室を開催した。 親子教室：年 4 回実施。体操教室：年 8 回実施。</p> <p>(4) ママさんグータンの実施(母親同士の交流会) 5 月 26 日 稲荷山養護学校見学会 6 月 2 日 長野養護学校見学会 10 月 3 日 就学についての学習会 2 月 20 日～24 日 保護者参観と昼食会</p> <p>(5) みんなの広場の実施(家族参加のお楽しみ会) 4 月 9 日 お花見会 16 家族 7 月 16 日 夏祭り 20 家族 10 月 3 日 親子観劇会（日産労連おはなしキャラバン人形劇）20 家族 10 月 22 日 運動会（会場：いつわ苑地域交流スペース）31 家族 12 月 23 日 クリスマス会（会場：柳原総合市民センター）30 家族 3 月 26 日 おもひで会（会場：柳原総合市民センター）30 家族</p> <p>(6) 保育所等訪問支援の実施 12 園、3 小学校、1 養護学校において個別支援および担当保育士などへの支援を行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	こどもの自立生活館茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定されたクラブの参加を通して支援をおこなった。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2)個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	(3)その他の事業 送迎サービス、避難訓練、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 5 名		
4. 利用者実績	1 日平均 14 名(定員 20 名)※契約者数 69 名		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30</p> <p>土曜日等学校休業日 午前 9:30～午後 3:30</p> <p>※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)わくわくプログラム 小学校 1 年～3 年生を主な対象とし、週替わりで活動を提供することで様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。</p>		
	<p>(2)クラブ 曜日ごと放課後の時間にアウトドア、お料理、アート、おでかけ、スポーツ、お楽しみクラブを実施し、様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。</p>		
	<p>(3)家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。</p> <p>草取り(平成 28 年 6 月 7 日、7 月 11 日)</p> <p>放課後等デイサービス説明会(平成 29 年 2 月 4 日)</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】			
事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定された部活動の参加を通して支援を行い一人ひとりが目標を持って活動に参加できるよう支援をおこなった。</p> <p>また、主な活動場所として地域の施設を積極的に使用し、日々の練習の成果を発表する機会として合宿や記録会などの大会に参加し、自己ベスト更新など一人ひとりの目標を達成する事ができた。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	(3) その他の事業 送迎サービス、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、指導員 4 名		
4. 利用者実績	1 日平均 7 名（定員 10 名）※契約者数 38 名		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30</p> <p>土曜日、学校休業日 午前 9:30～午後 3:30</p> <p>※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 部活動</p> <p>曜日ごと放課後の時間にアートワーク、クッキング、水泳、スポーツ、ダンス部を実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムとし、プールやデイキャンプなどの活動を提供した。</p> <p>日頃の練習の成果の発表の場として、大会や発表会を実施した。</p> <p>①水泳部</p> <p>7 月 9、10 日 合宿及びサンスポート駒ヶ根水泳記録会に出場した。</p> <p>3 月 11 日 サンアップル水泳大会に出場した。</p> <p>②スポーツ部</p> <p>10 月 16 日 竜の里須坂健康マラソンに出場した。</p> <p>③ダンス部</p> <p>3 月 6 日に発表会を実施した。</p>		
	<p>(2) 森と木家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。</p> <p>草取り（平成 28 年 6 月 7 日、7 月 11 日）</p> <p>放課後等デイサービス説明会（平成 29 年 2 月 4 日）</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の外泊体験として、食事の買い物や調理などを支援員と一緒にを行うことで、自立した生活に向けて体験する場の提供を行った。併せて、緊急時の宿泊や家族の介護軽減等を目的に宿泊の支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3 名（定員 4 名）※契約者数 119 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	あかね舎ファミリーホーム	サービスの種類	短期入所
1. 総括	あかね舎ファミリーホームについては、実親家庭での生活が困難になった学齢児を主な対象とする為、定例のケア会議を開催し、ケアプランに基づく支援を行うとともに、健全な家庭生活への復帰を目指し、家庭や関係機関との連絡、相談を密に行う支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3 名（定員 6 名）※契約者数 20 名		
5. 開設時間	月曜～日曜		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 家庭、関係機関との連携 家庭との面談や学校でのケア会議への出席をし、連携を図った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	まめじまカフェ	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活をしている行動障害のある人を主な対象とし、一人ひとりに合わせた宿泊のスケジュール提示や建物の構造化を行い、ご本人の安定した生活の維持や家族の介護負担の軽減等を目的に宿泊の支援を行った。		
2. 事業の内容	(1)障害福祉サービスの提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行なった。 ----- (2)その他の事業 送迎サービス、食事提供サービスの提供を行なった。		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3 名（定員 3 名）※契約者数 14 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日 午後 4:00～翌日 10:00 ※相談に応じて、日中支援もおこなう		
6. 活動/作業内容	(1)日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2)自立生活に向けた相談、助言 将来の自立生活についての相談を受け、助言等を行った。 ----- (3)家庭、関係機関との連携 家庭との面談やケア会議へ出席するなど、家庭や関係機関との連携を密に図った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	グリーンハイツ稲田	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>児童養護施設などを退所したが家庭での生活が困難な障害者に対し、地域移行のためのアセスメントと必要な支援を検討・実施することを目的に、短期入所のサービスを提供した。</p> <p>利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な相談支援等を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名、生活支援員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 2 名（定員 2 名）※契約者数 4 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～日曜日</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <hr/> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	居宅介護・行動援護 移動支援
1. 総括	<p>行動援護事業、市町村移動支援事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の人を対象に平日の夕方の時間や休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。</p> <p>また、ホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある人に対し、自分らしく生活が送れるようヘルパーを派遣し、居宅介護事業の提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村移動支援事業、行動援護事業の実施 平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。また、集団が苦手な人には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。</p> <p>(2)居宅介護 在宅で生活されている人やケアホームで生活されている人を対象に、居宅介護計画に沿った身体介護の提供を行った。また、定期通院などには通院介助の提供を行った。</p> <p>(3)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス提供責任者 3 名、登録ヘルパー：30 名		
4. 利用者実績	年間利用時間 身体介護 4629 時間、通院介助 275 時間、行動援護 2257 時間、移動支援 2372 時間		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1)サークルQ 毎週末の土、日や祝日に外出、ならびにカルチャースクールなどの 2 企画 10 名程度で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。また、1 泊 2 日の旅行も 3 回開催し、年齢に応じた活動の提供を行った。</p> <p>(2)アフター 5 (月)料理、(火)歌サークル、(水)アートサークル(木)スポーツ、(金)個別活動(主に行動援護)と活動を設定し、サービスの提供を行った。金曜の個別活動では、それぞれのニーズに応じた活動内容を提供することができた。</p> <p>(3)居宅介護(身体介護、通院介助) 在宅で暮らしている人やケアホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	市町村タイムケア 長野市障害児自立サポート
1. 総括	<p>在宅で生活されている方の一時的な預かりや緊急時の預かり、介護軽減等を目的にサービスの提供をおこなった。</p> <p>利用者の身体、その他の状況に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な支援を適切かつ効果的におこなった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村タイムケア 障害のある方が、家庭等で介護できないときに一時的な預かりや緊急時の預かりなどをおこなった。</p>		
	<p>(2)長野市障害児自立サポート 障害のある子どもが、地域で充実した生活を送りながら、将来の自立に向けた様々な体験ができるよう支援をおこなった。</p>		
	<p>(3)法人独自サービス 病院の付添等福祉サービスが使えない場合や、タイムケア・自立サポートの上限数を超過してしまった場合などに、利用者の実費負担でサービスの提供をおこなった。</p>		
	<p>(4)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>管理者 1 名 支援員：2 名</p>		
4. 利用者実績	<p>年間利用時間 タイムケア 11749 時間、長野市障害児自立サポート 4308 時間</p>		
5. 開設時間	<p>365 日 24 時間</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)タイムケア 日中の一時預かりや緊急時などの対応、サークル Q やアフター5 等で外出以外の余暇活動の支援をおこなった。</p>		
	<p>(2)長野市障害児自立サポート 放課後等デイサービス以外の時間帯で児童に対してサービスの提供をおこなった。</p>		
	<p>(3)ダンススクール 毎月 2 回、日曜日に開催した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>D×P ビートウッズ 20 周年記念公演</p>		

事業報告書【平成 28 度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	共同生活援助
1. 総括	<p>共同生活援助指定事業所として共同生活援助計画に基づき、利用者ひとりひとりが主体的に自らの生活を作り上げられることに焦点をあて、きめ細かな支援を行ってきた。利用者が地域において、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行った。</p> <p>平成 28 年 4 月には長野市稲田にグリーンハイツ稲田イースト（男性 6 名、女性 1 名）を開設した。通常の居室とは別に、トイレ・バス付きの居室(3 部屋)や、部屋毎に玄関が用意された居室(2 部屋)など、入居者の障害特性や要望に応じた暮らしの形が実現できるよう整備を行い、きめ細やかな支援を行ってきた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 共同生活援助計画の作成 6 ヶ月に 1 度、共同生活援助計画の見直しを行い必要に応じて変更を行った。</p>		
	<p>(2) 生活支援 食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者 1 人 1 人の個別支援計画に沿ったサービスを提供した。</p>		
	<p>(3) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方向けに 10 月に長野県健康づくり事業団による健康診断を実施した。また、希望者にはインフルエンザの予防接種や歯科検診の機会を提案し、健康管理に努めてきた。</p>		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス管理責任者 4 名、生活支援員 15 名、世話人 27 名		
4. 利用者実績	入居者数 92 名（定員 99 名）		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p>		
	<p>(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。</p>		
	<p>(3) 健康管理 体調不良や定期通院等必要に応じて通院に付き添い、医療機関との連携を図りながら日々の健康管理に努めた。</p>		
	<p>(4) 夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、生活支援員と情報交換を行い、連携を図った。</p>		
	<p>(5) 金銭管理 金銭管理については基本的に法人で行っていないが、金銭管理を行なう家族がおらず、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業での対応が難しい方(5 名)については、例外的に法人で管理を実施している。</p>		
7. 単年度事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファ東和田Ⅱスプリンクラー整備（社会福祉施設等施設整備費国庫補助金） ・防犯カメラの設置（社会福祉施設等施設整備費防犯対策強化）※未実施 		

各共同生活住居の状況

住居名	開設時期	所在地	定員	現員
コーポ 21	平成 11 年 4 月	長野市風間 1412-11	4 名	男性 4 名
みわ	平成 17 年 10 月	長野市三輪 8-53-5	5 名	女性 3 名
ぼるて平林A	平成 18 年 4 月	長野市平林 1-32-15 (1 階)	4 名	男性 4 名
ぼるて平林B	平成 18 年 4 月	長野市平林 1-32-15 (2 階)	4 名	男性 4 名
サンディ東和田	平成 19 年 4 月	長野市東和田 233-1	7 名	女性 7 名
パール平林	平成 20 年 4 月	長野市平林 1-3-17	5 名	男性 4 名
ハイム平林	平成 21 年 3 月 (平成 29 年 3 月廃止)	長野市平林 2-19-3	4 名	男性 3 名
アルファ東和田 I	平成 21 年 11 月	長野市東和田 918-1	6 名	男性 6 名
クオリティ桜	平成 22 年 1 月	長野市桜新町 801-75	7 名	男性 7 名
メゾン浅川 I	平成 22 年 9 月	長野市浅川押田 146-3	12 名	男性 12 名
アルファ東和田 II	平成 23 年 4 月	長野市東和田 918-1	6 名	女性 5 名
メゾン浅川 II	平成 24 年 3 月	長野市浅川押田 249-1	4 名	男性 2 名
サンハイム稲田	平成 24 年 4 月	長野市稲田 3-36-28	9 名	男性 9 名
ハイツもりた	平成 25 年 4 月	長野市高田 203-3	6 名	男性 3 名 女性 3 名
サンディおわりべ	平成 26 年 4 月	長野市西尾張部 614-2	4 名	女性 4 名
グリーンハイツ稲田	平成 27 年 3 月	長野市稲田 2-55-41	5 名	男性 5 名
グリーンハイツ稲田 イースト	平成 28 年 4 月	長野市稲田 2-55-40	7 名	男性 6 名 女性 1 名

事業報告書【平成 28 年度】

事業所名	地域生活相談室 ベターデイズ ベターデイズ 権堂分室	サービスの 種類	長野市障害者相談支援事業 長野市児童発達相談支援事業 長野県障がい児等療育支援事業 発達障がいサポートマネージャ整備事業 指定一般相談支援事業 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業
1. 総括	<p>指定相談支援事業では法人利用以外の方からの希望があり、出来る範囲で受け入れを行った。相談員と相談支援専門員とが必要に応じてケースの情報共有を行い、利用者の状況や支援の方向性についてチーム支援が行えるように努めることができた。</p> <p>長野圏域のネットワーク作りとして、療育事業において子どもの放課後について考える会を行い、来年度につながる、放課後のサービス提供事業所連絡会のネットワークができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)長野市相談支援事業・長野市児童発達相談支援事業 長野市在住の障害児者を対象に相談支援を行った。長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、ケアマネ連絡会での事例検討、施策フォーラムで地域の課題の検討を行った。昨年に続き、地域を対象とした障害児理解のための学習会を行った。 相談件数 身体障害 34 件 重心 80 件 知的障害 265 件 精神障害 88 件 発達障害 972 件 高次脳 2 件 その他 101 件</p> <p>(2)長野県障がい児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に、相談を行い必要に応じ早期から療育支援や福祉サービスの情報提供を行った。障害のあるお子さんを持つ親御さんを対象にのびのびワークショップ（学習会）を 8 回実施した。 放課後を考える会を行い、事業所や市町村と放課後支援の課題について話し合った。</p> <p>(3)発達障がいサポートマネージャ整備事業 長野圏域を対象に、発達障害のあるご本人や家族の相談を行っている支援者からの相談を受け、福祉サービスの利用や支援の方向性の検討を行った。医療、教育、福祉の専門機関がそれぞれの役割を理解しつつの緩やかな繋がりを広めていくために「つながる連絡会」を行った。</p> <p>(4)指定一般相談支援事業 入所施設に入所している障害者、又は精神科病院に入院している精神障害者について、住居の確保その他の地域における生活に移行するための相談を行ったが、事業利用にはつながらなかった。</p> <p>(5)指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 障害者（児）者への継続的な相談支援として、相談の受付、アセスメントを行い障害（児）者の抱えている課題に対し適切なケア計画の作成を行い、安心して地域生活が送れるための見守り支援を行った。 障害児ケア計画 277 件、継続 156 件。障害者ケア計画 295 件、継続 431 件</p> <p>(6)ケアプラン作成事業 長野市在住の方もしくは委託を受けている市町村に在住し希望する方を対象としケアプランの作成を行った。ケアプラン作成事業 2 件</p>		
3. 職員数	管理者 1 名 長野市委託相談員 2 名 相談支援専門員 6 名 発達障がいサポートマネージャ 1 名 療育コーディネーター 2 名		
4. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 8：30～午後 5：30		